

第 17 期文化審議会著作権分科会における検討課題について

平成 29 年 4 月 12 日
文化審議会著作権分科会決定

第 17 期の文化審議会著作権分科会における検討課題としては、以下の課題が考えられる。
なお、知的財産推進計画 2017 の策定や今後の状況の変化等を踏まえて適宜見直しを行う。

審議事項①：著作権法制度の在り方及び著作権関連施策に係る基本的問題に関すること

（検討課題例）

- 文化審議会著作権分科会法制・基本問題小委員会中間まとめ（平成 29 年 2 月）における検討課題（新たな時代のニーズに的確に対応した権利制限規定の在り方等、教育の情報化の推進等、障害者の情報アクセス機会の充実、著作物等のアーカイブの利活用促進）
- リーチサイトへの対応

等

審議事項②：クリエイターへの適切な対価還元等に関すること

（検討課題例）

- クリエイターへの適切な対価還元等のための、私的録音録画補償金制度の見直しや当該制度に代わる新たな仕組みの導入

等

審議事項③：国際的ルール作り及び国境を越えた海賊行為への対応の在り方に関すること

（検討課題例）

- 著作権保護に向けた国際的な対応の在り方
- インターネットによる国境を越えた海賊行為に対する対応の在り方

等

（以 上）